

# ★肺がん検診を受ける方へ★

肺がん検診は、以下の流れで行います。

## ◎胸部 X 線撮影

X線で肺全体を撮影します。

肺野部（末梢部）にできるがんの発見に適しています。

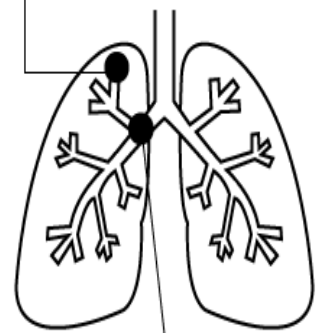
## ◎喀痰細胞診

50歳以上の方で喫煙指数（喫煙年数×1日の喫煙本数）が600以上の方、40歳以上で6か月以内に血痰の出た方などが対象となります。

痰を採取し、がんの細胞が混じっていないかを顕微鏡で調べます。

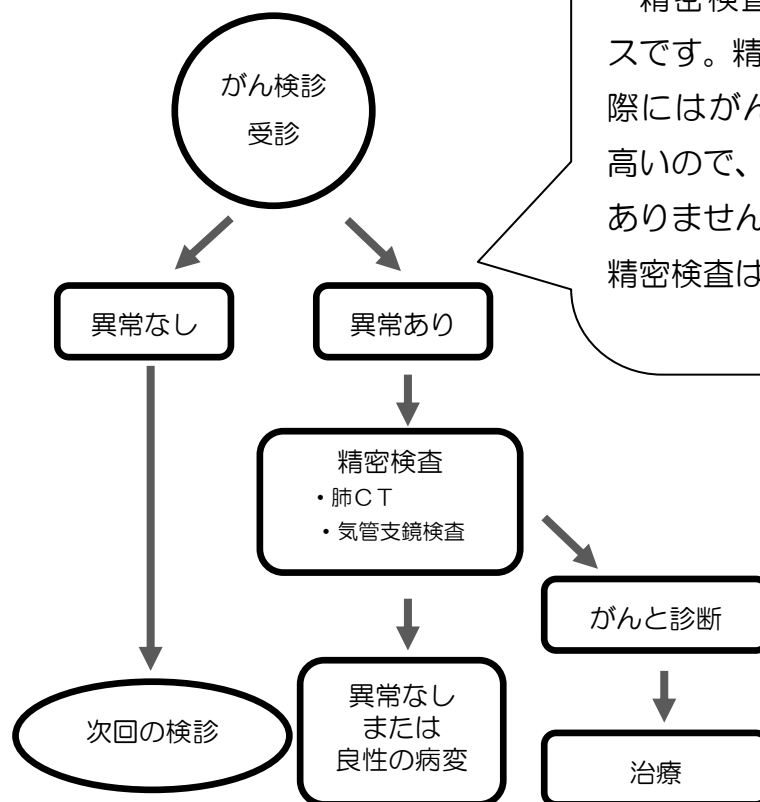
X線撮影で見つけにくい肺門部（中心部）にできるがんの発見に適しています。

気管支の末梢にできるもの（肺野型）



太い気管支にできるもの（肺門型）

対象：40歳以上の男女



### ※精密検査と言われたら…

精密検査は早期発見のチャンスです。精密検査を受けても、実際にはがんではない確率の方が高いので、むやみに怖がる必要はありません。

精密検査は必ず受けましょう！

## 肺がんは日本人の死亡 1 位!!

日本人の肺がん死亡順位は、男性 1 位、女性 2 位で、40 代後半から増加します。初期には自覚症状がほとんどなく、進行しても風邪と似た症状のため、見逃されがちです。

また、治りにくいがんと言われていましたが、近年は検査の精度が向上し、早期に治療を始められることも多くなっています。

**早期発見、早期治療のために、毎年、肺がん検診を受けましょう。**

■がん検診は自覚症状がない方を対象としています。

■治りにくい咳、血痰、胸痛、呼吸時のゼーゼー音、息切れ、声のかすれ、発熱など、異常を感じた場合は、次の検診まで待たず、すぐにお近くの医療機関を受診しましょう。

### 禁煙が高める肺がん予防効果

喫煙は多くのがんを誘発していますが、なかでも肺がんとの密接な関係が明らかになっています。

しかし、禁煙すると 5 年で肺がんにかかるリスクが半分になると言われており、肺がんになる確率を劇的に低下させます。

禁煙は、一朝一夕に成功できるものではありませんが、健康のためにぜひチャレンジしてください。

